

令和2年度 中央幼稚園 外部評価報告書
評価委員：稲生憲一委員長、豊田一成委員、鈴木英子委員、高安正美委員、片山英治委員 鈴木一弥副委員長 報告書作成者：鈴木一弥副委員長
評価時期 令和3年2月
<p>1 重点目標の評価</p> <p>重点目標1「主体的に学び行動する基礎の育成」について</p> <p>評価項目①の個に応じた指導についても、評価項目②の異年齢交流活動についても保護者の肯定的な評価が95%以上と多いが、教員の評価では、「十分達成している」がいなかった。新型コロナウイルス感染症への対応で、保育活動が十分に実施できなかったことが考えられる。今後も感染症への対応が続くと考えられるので、安全第一でできることを工夫し、保育活動を充実させていってほしい。</p> <p>重点目標2「豊かな人間性の基板の育成」について</p> <p>評価項目①の道徳性、評価項目②の体験活動、評価項目③の個に応じたかかわりと支援については、保護者の肯定的な評価が高く、教員の努力の結果であると捉えている。一方、教員の評価では、重点目標1と同様に低めの評価である。特に道徳性の芽生えの醸成については、指導の難しさと成果がみられにくいことが考えられる。今後も着実な指導をお願いしたい。また、体験活動の充実については、感染症への対応とともに、できることを工夫して実施してほしい。</p> <p>重点目標3「健康な体力・安全な生活の素地の育成」について</p> <p>評価項目①の体を動かす楽しさを実感させることについては、保護者も教員の評価でも肯定的な評価が高い。園の自己評価でも触れられていたように、幼児が体を動かしたくなるような環境の工夫にさらに取り組んでほしい。</p> <p>評価項目②の新型コロナウイルス感染症に関する安全な生活については、保護者からも肯定的評価があったように、これからも安全な生活が送れるような取組をお願いしたい。</p> <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <p>今年度は、感染症対応で実施が困難だった併設小学校や近隣の幼稚園・保育所等との交流活動を計画的に実施できることを望みたい。</p> <p>3 その他の意見</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けての園での取組は、本当に大変であると思う。教職員の健康にも注意をしながら、来年度も保育活動を充実させていってほしい。</p> <p>地域の中での交流が減ってきている今、先生方、保護者ともに手を取り合ってこどものことを考えるという視点を持ち続けてほしい。</p>

* 3月に各学校のホームページで公表していきます。